



東御市男女共同参画推進会議だより

令和7年3月1日発行 No. 69 / 東御市男女共同参画推進会議
事務局 人権同和政策課男女共同参画係 (☎64-5902)

未来につながる東御市の「共同参画のまちづくり」を！
～これからの地域のつながり・ささえあいについて～

令和6年11月13日、東御市男女共同参画推進会議が和コミュニティセンターで「和地区懇談会」を開催しました。

当日は区長さんはじめ関係の皆様55名のご参加をいただき、地域づくり、区づくりなど多くの事柄について、ワークショップ型で話し合いました。

この懇談会の主な内容を報告いたします。



区の運営等でよいと思われること、頑張っていたいただいていることについて

* コロナもだいぶ収まり、区の行事、イベントがだんだん復活してきた。若い人も含めて大勢参加するようになった。さらに公民館活動も盛んになっていくと思う。

* 和地区の女性の役員参加が多くうれしいです。三役に女性が多く進出してくれると、皆さんの負担の軽減もあり、女性目線の運営も行われ、地域のつながりも増えると思う。今後も地域づくりを皆で続けていきたい。

* 栗林区では7年ほど前から、区の会計・公民館の副（会計）は女性を毎年選ぶこととなっている。今後も続けてほしい。（なお、本海野区では、毎年、女性が副区長に就任しています）

* 児童と地域の方々の挨拶が良く交わされている。また不登校に対する地域の理解も進んできたと思われる。

市の行政運営でよいと思われること、頑張っていたいただいていることについて

* 学校教育の中で、共同参画の大切さなど小さいころから子どもたちに経験させている。今の子どもたちが大人になるころには、男女共同参画の世の中がもっと実現することを期待している。

* 市内、子どもを中心とした教育活動を実践しており、ありがたい。

* 行政職に女性の役職が増えている。

* デマンドバスが増車になって助かる。

* 空き家対策などについての市の対応はよくやっていると思う。

* 若い世代は、共働きをしながら、家事分担や育児全般で協力し合っている。また、男女関係なく、できることは、お互いにチャレンジしている様子も見られる。



12～13人のグループで4部会に分かれ話し合いました。付箋紙に書いたことを模造紙に貼り、個々の話し合いがされました。





区の運営等で検討していただきたいことについて



* 区の役員の数が多い。役員の負担を減らしてほしい。役員の負担を減らせば、できる人もあるかもしれない。

* 区役員の女性の登用ができない。女性が進んでやりたいと思うような工夫が必要。

* 区の運営やまちづくりを高齢者にだけ任せるのではなく、青年部という組織を考え、若い人にも区の仕事の理解を進めたらどうか。区単位で無理なら、地域づくりの会の中で連携して進めたらよいのでは。

* 地域の役員等のデビューは公民館役員の活動から始まるとかかわりやすいのでは。そこから、地域での交流が始まる。女性や若い人たちの役員養成にも良いのではないかな。



* コロナ後の地区の行事が復活してきているが、子どもや若い世代の行事参加が少ない。また、高齢者の参加も減ってきている。多くの世代が参加しやすい工夫が必要と思われる。

* 高齢者の見守りのため、回覧板の活用（回数、内容等）を考え、できるだけ、回覧板を声をかけて、対面で渡すような仕組みにして、隣近所の付き合いが増えるよう考えてほしい。

* 個人情報保護等で、区や地域の若者や子どもの名前や家などが分からず、交流ができにくい。何か方法はないか。



市の行政運営等の中で、検討していただきたいことについて

* 行政からの会議や行事等の参加要請や依頼が多く区の役員のなりての減少につながる。

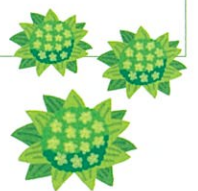
* 「市などからの配りものも沢山あるので市の広報も配信の方法にしたらどうか。」のご意見がある一方で、「何でもインターネットでの対応が増えている。若者にはよいが老人にやさしい町にしてほしい。（また、広報は今まで通りにしてのご意見もありました）」

* 行政と各地区の関係の見直しが必要。市は各区の取り組みを把握して、市のリーダーシップを発揮してほしい。

* 9月の防災訓練が中止となったが、その後各区長、消防団等の関係機関との防災上の連絡（災害支援者台帳対象者への確認の報告など）は行っていたのか。

* 高齢化が進み、独居世帯が増える中、若い人の生活は苦しい。また、田舎へ帰らない若者が多い。もっと確実性の高いIターンの促進はできないか。

* 空き家が増えているので、空き家・廃屋の調査や補助等を充実して欲しい。



部会ごとの発表

話し合いが終了した後、全体会で部会ごとに出された意見等のまとめを発表しました。





和地区懇談会を実施した結果についての感想など

- ◎「今頃まだ男女共同参画なのか、何年も前にも同じことをした。」という感想がありました。
- ◎母親から「家庭生活の中で息子が、家事や台所の仕事をやっていることが不満である。」など、皆さんの中には、昔のままの考え方や習慣がまだ残っていることもあると感じました。
- ◎しかし若い皆さんは、男女が家事や育児など協力し合って生活されていることもわかりました。日々の生活は、家族みんなが思いやりと支えあいで行いましょう。
- ◎今回の話し合いの中で、いろいろな立場の皆さんに参加していただき、たくさんの意見をお聞きしながら、区の役員のことなど、地域社会の中では、まだまだ多くの課題があることがわかりました。
- ◎お互いに、隣近所へ声を掛け合いながら、安心して生活できる地域にしていきたいと思います。

区づくり・地域づくりは
みんなが参画しましょう！

令和6年度「男女共同参画週間6/23～29」事業 アップ

～テーマ「地域の防災力をUPしよう！」～
「一人ひとりができる備えは」「身近な防災対策について」の講演会

男女共同参画推進会議、女性団体連絡協議会の共催による講演会を、6月29日（土）中央公民館講堂で開催しました。

講演の内容

- ①東御市総務課 下條武志防災係長
 - ・災害に対する市内の備えの状況と協力体制について
- ②長野県危機管理防災課 太田英雄防災指導員
 - ・災害時の自主防災・地域の体制・協力などについて
 - ・災害対応ゲーム

気象現象は、今後さらに厳しくなり、いつどこで災害が発生してもおかしくありません。

命を失わないために災害に関心を持ってください。避難するかしないか、最後は「あなた」の判断です。

皆さんの命は自分自身で守ってください。

防災の基本は、「自分の命は自分で守る」「自助」です。次に地域で助け合い、支え合う「共助」です。「防災」は「地域づくり」です。

地域の皆さんで助け合いましょう。



「市長と語る 車座ミーティング」

令和6年7月12日、市長と語る車座ミーティングを行いました。

内容は、現在の男女共同参画推進会議の在り方についてでした。

会長：発足時からの経過・活動内容等と、現在の状況と今後の市民会議の在り方を検討する時期に来ていることを報告。

*男女共同参画の推進も、今の時代に合ったものを考えていきたい。

*高齢化に伴い後継者が育たないが、市民会議の存在の必要性もある。

*これからも行政の行う活動にできる範囲で参加していきたい。

市長：現状に賛同する意見より否定的な意見の方がこれからの時代を作っていくと考えている。男女共同参画も今現在、問題に直面している若い世代の皆さんの意見が時代を変えていくと考えるので、市民会議も世代交代が必要であると思っています。

*1時間余の市長さんとの話し合いの中で、会員の中から多くの意見が出され、これからの推進会議の在り方を改めて考えました。



東御市男女共同参画推進会議では約30年間、 市民活動をしてまいりましたが・・・ この度、活動を終了することにしました。

東御市男女共同参画推進会議発足の経緯・主な実施事業

平成 5年11月 「女性問題懇話会」が発足。
平成 8年 2月 「サンテラスとうぶ女性プラン」策定。
2月 「男女共同参画のまちづくり宣言」(旧東部町)
平成 8年 7月 「とうぶ女性プラン推進会議」発足。
平成10年~令和6年 毎年地区懇談会を各地区で開催(年に2~3地区)
平成13年~令和2年 女性問題研究集会(後の男女共同参画のつどい)
を女団連と共同開催。
平成14年 「パートナーシップみまき」発足。
平成16年 4月 東御市合併「東御市男女共同参画推進会議」発足。
平成19年~30年 「やさしい男女共同参画セミナー」開催。
(市内に居住の女性起業家などの講演会等)
平成19年~令和元年 「映画のつどい」を文化会館で開催。「歓喜の歌」
「人生いろどり」「家族はつらいよ」などを上映。
令和 4年~6年 男女共同参画週間事業(講演会など)を開催。

*発足当初よりかかわった会員のあいさつ

平成8年に「サンテラスとうぶ女性プラン」の策定にかかわらせていただき、私たちは、長い間性別にとらわれずに、互いに尊重し合い、喜びも責任も分かち合う男女共同参画社会を目指してきました。特に地区懇談会で多くの皆様のご出席をいただき、出た課題をしっかりと受け止めた日々が懐かしく思い出されます。 加沢 山岸淳子
(元社会教育指導員)

♡市民会議としての男女共同参画推進会議の活動

- ・推進会議は、女性プラン策定時より、行政と市民の双方で東御市の男女共同参画を推進するために構成された市民会議です。
- ・推進会議発足当初は60名余りの会員が5つの部会に分かれ、「女性の就労」、「地域活動への参画」、「家事の分担」等、啓発活動を行ったり、男女共同参画に関するセミナー開催の企画運営をしました。また会員が各地区に出向き、区長さんや市民の皆さんと「地区懇談会」を開催し、ご意見・ご提案を関係機関や行政に報告いたしました。
- ・啓発活動の一環で「推進会議だより」を年数回発行し、隣組回覧をしました。
- ・現在は、12名の会員で活動してきました。



♡市民会議としての今後の方向

- ・発足から28年が経過し、会員の減少と高齢化等により多くの事業の実施が大変になってまいりました。
また、男女共同参画という考え方も時代の経過とともに、社会的な意識も変容し、女性の地位の向上のみでなく、社会を構成する様々な人々の人権に配慮した取り組みが必要とされてきています。
- ・7月の市長と語る車座ミーティングで市長さんのお考えをお聞きし、今後、市民に向けより良い取り組みを市長さんをお願いして、我々の活動を終了することとしました。
皆様、長年にわたり私たち「男女共同参画推進会議」の活動にご協力、ご支援いただきまして心より厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。



御礼

『編集後記』月日の経つことが信じられない速さで過ぎていきます。そのことと同時に、社会のいろいろなことの急激な変化を強く感じています。生活する中の現実には厳しいことばかりです。しかし、基本的には、人として考えていかなければならないことは昔も今も変わらず、「お互いにいたわり合いながら、心豊かに生活ができ、だれ一人取り残さない社会にしていこう」ではないでしょうか。
(男女共同参画推進会議編集係)